

市議会だより

No.78



2025年5月1日発行
発行 仙北市議会
編集 仙北市議会・
広報編集 特別委員会

第3回定例会、議員賛否

P2

総務文教常任委員会

P9

令和7年度
一般会計当初予算

P3

市民福祉常任委員会

P10

一般会計補正予算・臨時会

P4

産業建設常任委員会

P11

一般質問

P5～8

議員活動紹介・人事案件
・編集後記

P12

■難波 和夫さん(田沢湖生保内) 撮影
「新緑の抱き返り溪谷」

—第3回(2月)定例会—

角館上野庁舎改修工事請負契約の締結を可決!3月中に着工!

令和7年 第3回定例会が2月25日から3月19日まで23日間の会期で開催され、令和7年度当初予算や令和6年度一般会計補正予算などの予算関係26件、条例関係23件、指定管理者関係2件、その他2件、人事関係4件、議員提出議案3件の計60件が審議され、すべての議案が可決されました。令和7年度は仙北市が誕生して20周年であり、9月に記念式典が開催されます。

■選挙の投開票日に自宅から投票所までタクシーでの無料送迎を実施!!

市民の投票機会の確保と投票率向上を目指し4/6の秋田県知事選挙から実施

■第3回 定例会で可決された主な議案

議案第60号 角館上野庁舎改修工事請負契約の締結について【賛成多数で可決】

工事概要	仙北市角館上野庁舎改修工事 ・庁舎棟改修：建築、電気、機械、各1式 延べ面積 3,419.58㎡ ・風除室・車寄せ：鉄骨造平屋建-増築1式 延べ面積 63.00㎡ ・自転車置場：鉄骨造平屋建-増築1式 延べ面積 13.35㎡
契約業者	瀧神・小松・寺沢特定建設工事共同企業体（代表者（株）瀧神巧業）
契約額	8億9,320万円（税込価格）※入札率99.95%
工期	令和7年3月から令和8年1月30日まで ※2月の開工を予定
入札方式	条件付一般競争入札（秋田県電子入札システム）

議員提出議案

「職員の不祥事根絶を求める決議」を提出

初日に、議員全員の連名による議員提出議案第1号「市職員の不祥事の根絶を求める決議」を提出し、市長の猛省と市職員への徹底した綱紀の肅正を求めた。

1. 綱紀の保持と服務規律確保の強化
2. 統括責任において不祥事を根絶するための管理体制の一層の強化
3. 市長を含む職員各位の責任の自覚

※市長に市民の信頼回復に努めるよう強く求める。

令和7年2月5日、本市職員が酒気を帯びた状態で秋田市内を車で運転して2台の車と衝突し、ケガを負わせ現行犯逮捕された。(2/18 付懲戒免職)

議案第57号 市長・副市長の給料を減額支給

市職員の酒気帯び運転事案（左記参照）に対し、組織の長としての自らの責任を重くみて、市長の給料月額額の10分の2を1ヶ月、副市長の給料月額額の10分の1を1ヶ月、それぞれ減額して支給するための条例改正を賛成多数で可決しました。

	現行の給与	減 額	減額後の給与
市 長	850,000 円	170,000 円 (△20%)	680,000 円
副市長	638,000 円	63,800 円 (△10%)	574,200 円

議決結果/議員賛否 令和7年 第3回 仙北市議会定例会(招集日:2月25日 最終日:3月19日)

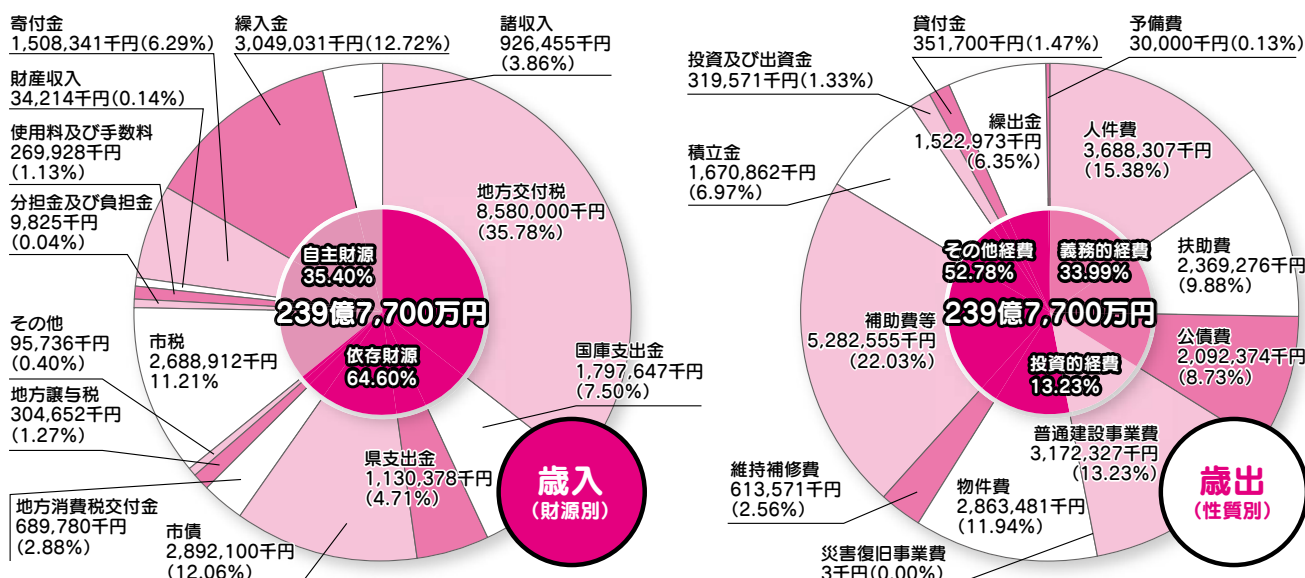
凡例：賛→賛成 反→反対 退→退席 欠→欠席（議長は法律に定める特定のケース以外では表決をしないことになっています）

議案番号	会派及び氏名 件 名	議決 月日	議決 結果	蒼生会					せん 新成 ぼく		共産党	公明党	無会派				
				小林幸悦	眞崎寿浩	高橋輝彦	武藤義彦	門脇晃幸	青柳宗五郎	小田島広仁			中村和彦	西宮三春	平岡裕子	熊谷一夫	高久昭二
議案第23号	仙北市田沢湖活性化センター条例を廃止する条例制定について	3/19	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛
議案第25号	仙北市角館西宮家条例を廃止する条例制定について	3/19	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛
議案第26号	令和7年度仙北市一般会計予算	3/19	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	反	賛	賛
議案第28号	令和7年度仙北市国民健康保険特別会計予算	3/19	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛
議案第57号	仙北市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について	3/19	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	反	賛
議案第60号	工事請負契約の締結について	3/19	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛

※全会一致で可決された議案については議員賛否を掲載しておりません。

令和7年度 一般会計当初予算 過去最大 239億7,700万円

令和7年度の当初予算は、角館上野庁舎改修や旧角館総合病院解体などの大規模事業があり、過去最大の予算額になりました。人口減少対策や地域経済活性化の促進とともに市民生活を維持するため、国県補助金や合併特例債などの有利な財源、ふるさと納税などを最大限に活用し、不足分の予算は財政調整基金を活用して調整したとの説明がありました。



令和7年度 一般会計当初予算の主な事業

令和7年度の事業は、仙北市が抱える人口減少や少子高齢化などの危機的状況を克服するため、子育て支援、少子対策、個性を生かした地域づくりや関係人口の拡大に重点を置いた予算となっております。

具体的には、全園児の保育料、主食・副食費の無償化、高校生までの医療費無料化、インターナショナルスクール誘致事業、移住体験事業や角館高校への留学推進事業などを計画しています。

事業名	事業費(千円)	事業の概要
角館上野庁舎整備事業	1,699,513	旧角館総合病院解体、角館上野庁舎整備事業による庁舎機能の集約を実施
防災行政無線維持管理費	16,119	L I N E等を活用した防災情報発信の新システムの維持管理費
内陸線への補助金&利活用事業費負担金等	77,464	内陸線の運行維持の補助金や連携協議会の負担金等（対前年△14,250千円）
市政20周年記念式典開催事業費	2,000	9月14日に記念式典及び記念講演会を開催
インターナショナルスクール誘致事業	12,112	9月開校に向けバックアップを強力に推進。交流人口の増加や雇用の拡大による地域活性化
角館高校地域みらい留学推進事業費	2,349	角館高校と共同で県外からの入学受入れを推進する。令和8年度からの実施を目指す
地域運営体活動推進費交付金	20,340	地域での課題解決に向け地域運営体への支援を継続する（対前年 同額）
育児支援金給付事業費	2,162	1歳児&2歳児に15,000円を現金支給し子育て世帯を支援する
妊婦のための支援給付事業費	8,048	妊娠届出時5万円、出生届出時5万円の合計10万円を支給し子育て世帯を支援する
あきた出産おめでとう給付金支給事業	1,600	出生届出を行った家庭に出産祝金として秋田県から2万円を支給する
すこやか子育て保育料助成事業	33,393	全園児の保育料及び副食費を無償化する
就学前教育・保育施設等主食費無償化事業	1,914	全園児の主食（米飯）の無償提供を行い、育児に係る保護者の負担を軽減する
福祉医療費	205,033	0歳児から高校生までの医療費及び障がい者の医療費の自己負担分を助成する
高齢難聴者補聴器購入費助成事業費	1,105	65歳以上の補聴器購入費を助成（住民税非課税世帯2万5千円、課税世帯2万円）
多面的機能支払交付金事業	172,065	農地・農業用施設の保全や地域全体の保全管理の取り組み強化を図る
有害鳥獣駆除事業	10,662	クマの対応策強化及び増加するイノシシの侵入防止柵費用の補助やシカ対策も強化する
冬期交通対策費	532,879	冬期の除雪費を当初予算に計上
小規模分散型給水設備調査事業負担金	1,840	分散している住宅での水循環システムの実証実験に係る経費の一部を負担する
校内教育支援センター運営事業費	3,466	角館中学校に教室以外の居場所として「校内教育支援センター」を設置する
特別会計及び企業会計への補助金	2,391,141	病院事業へ11億円、下水道事業へ6億5,000万円、にしき園へ1億680万円などを支出
一般会計市債（借金）残高	220億5,563万円	令和6年度末見込みは212億229万円なので約8億5,000万円増加
財政調整基金（貯金）残高	4億692万円	令和7年度の当初予算編成後の見込み額であり令和6年度決算後変動有り

※インターナショナル誘致事業費（12,112千円）と高度外国人材等受入促進事業費（9,867千円）の事業に対する国の補助金が令和6年度に交付されたことから、最終日に「令和7年度一般会計補正予算（第1号）」で減額が可決されました。

令和6年度一般会計補正予算額 9億3,763万5千円を可決 累計263億480万8千円に

2月の大雪により2度目の増額 除雪費が6億 4,766 万円に

令和6年度一般会計補正予算(第13号・第14号・第15号)の主な事業

冬期交通対策費	6,500万円	2月の大雪により2度目の増額（1度目は2/3臨時会で9,770万円増額した）
地籍調査事業費	2,460万円	令和6年度の国の補正予算に伴う事業費の計上
生活バス路線対策費	1,796万円	生活バス路線の実績確定に伴う運行維持費補助金の不足分を羽後交通に支払う（乳頭線）
農地集積加速化基盤整備事業費	1,410万円	神代地区農地集積加速化基盤整備事業費の負担金
農地中間管理機構関連ほ場整備事業費	7,000万円	中川地区及び大瀬蔵野地区圃場整備事業費の負担金
公立学校冷房設備臨時交付金事業費	12万円	白岩コミュニティセンター有償貸与に係る補助金の国庫納付金
水道事業会計補助金	5,091万円	地方公営企業繰出基準に基づく水道事業会計補助金の増額
病院事業会計補助金	2億8,728万円	市立病院事業の経営支援のための補助金の増額(累計で11億円)
ふるさと納税寄付金	3億円	ふるさと仙北応援基金に積立（令和6年度の累計が39億円になる）
ふるさと納税への返礼品等の経費	1億5,765万円	ふるさと納税に対する返礼品や送料、サイト料など

令和6年度一般会計補正予算関連の主な質疑

◆冬期交通対策費（除雪費）について

質問 今回2度目の増額補正であるが、もっと余裕をもった当初予算にするべきではないか。いったい除雪費は一晩でいくらかかるのか。

答弁 過去の実績を基に算出している。当初予算は4億8,396万円だったが、2月9～10日、2月19～22日に想定を上回る降雪により増額が必要となった。仙北市内を除雪車がフル出動した場合、1回で1,150万円かかる。

第1回臨時会(1/20開催)

令和6年度一般会計補正予算(第11号)を可決

非課税世帯以外に一人4,000円の商品券を配付
～補正額10億3,080万6千円累計252億6,650万1千円～

第1回臨時会が1月20日に開催されました。ふるさと納税寄付金の6億円追加や物価高騰対策事業費などが審議され、全会一致で可決されました。

◇ふるさと納税寄付金 6億円
→ふるさと仙北応援基金に積立(R6累計で36億円)

◇ふるさと納税への返礼品等の経費 3億1,530万円
一人4,000円の商品券(課税世帯) 8,460万円
→4月中旬頃配付→使用期間は5/1～8/31

◇障害者支援施設に光熱水・食材の補助金 236万円
◇介護保険施設に光熱水・食材の補助金 2,538万円
◇はなさき仙北へ給食食材の補助金 151万円
◇肉用牛繁殖農家に経営安定対策補助金 165万円
→1万円×165頭

第2回臨時会(2/3開催)

令和6年度一般会計補正予算(第12号)を可決

除雪費9,770円増額
累計で5億8,166万円に
～補正額1億67万2千円累計253億6,717万3千円～

第2回臨時会が2月3日に開催されました。除雪車の出動回数増加による除雪費の増額や1月の新型コロナウイルスのクラスター発生によるにしき園での薬品購入増加に伴う繰出金を盛り込んだ令和6年度一般会計補正予算(第12号)が審議され可決されました。

◇冬期交通対策費の増額(除雪費) 9,770万円
→当初予算が4億8,396万円です累計5億8,166万円になる

◇介護保険特別会計に繰出金の増額 297万円
→にしき園での新型コロナウイルスのクラスター発生に伴う医薬品購入費を一般会計からの繰出金で賄う



蒼生会

小林 幸悦 議員

田口市長の二期目の出馬は

質問 田口市長は、厳しい財政の立て直しのため様々なことに取組まれてきたが、コロナ禍・ウクライナ侵攻や円安による物価上昇等により市民は大きな影響を受けている。そのような状況下で、長い間待ち望んでいた旧角館病院の解体やインターナショナルスクールの誘致は明るい話題ではあるが、この先も厳しい市政運営が求められると思う。

田口市長は次期市長選に立候補し二期目を目指すのか伺う。

答弁 これまで市長を続けてこられたのは、市議会議員の皆様のご理解やご指導、職員の協力によって何とか前に進んでいると振り返っている。コロナ禍・ウクライナ侵攻もあったが、毎年のように発生する自然災害には、災害から市民の暮らしと命を守るということで駆け抜けて来た3年4カ月だった。

現状、任期をまだ8カ月残しており、出馬についての判断は時期尚早と考えている。直面している

課題解決に傾注し、残りの任期を全力で全うしたい。



■田口市長の1期目に解体が始まった旧角館総合病院

税以外の債権回収について

質問 税以外の債権を一元化し、債権回収事務の効率化に取り組んでいる自治体もあるが、本市では検討したことがあるか。

答弁 債権管理の一元化による徴収体制については、平成30年の収納推進課発足時に検討されたが、税以外の債権についての経緯や回収等の対応が各担当部署で異なっており、一元化の管理はできていない。

今後は、各部署において債権の状況によつては、収納推進課に移管するなどして、効率的な債権回収に取り組みたい。



新成せんぼく

西宮 三春 議員

子育て支援の充実について

質問 放課後児童クラブの入会要件は、現状では育児休業中に利用ができない。母体の回復・育児に専念できる大切な期間への配慮に欠けるため、早急に入会要件を見直すことは出来ないか。

答弁 家庭の事情や保護者の事情等が一律ではないことから、本当に困っている方々に届くサービスを提供していきたい。

放課後児童クラブ利用要件拡充
放課後児童クラブの利用要件を拡充し、育児休業中も利用が可能となりました。
育児休業中により、放課後児童クラブの利用申請ができなかった方は、申請手続きをお願いいたします。
■申請書類の配布・提出場所
子育て推進課(角館庁舎)
各放課後児童クラブ(14:30以降)
■申請書類の提出期限
随時受付しておりますが、入会調整や受け入れ準備等がありますので、利用希望日の1~2週間前を目安に余裕をもってお申込みください。

■早急要件が拡充された放課後児童クラブ

令和7年度こども園・保育園入園に対する市の対応について

質問 入園を申し込んだ家庭が定員に関係なく受け入れ不可となった事案に対し、経緯と市民への対応について伺う。

答弁 園児数を鑑み、園での給食調理から外部搬入への切り換えを検討したため、離乳食提供が困難となる可能性があり、第2希望の園へお願いしたが、園内調理を継続し入園していただくこととなった。対象地域の皆様と意見交換や意思の疎通を図るべきだった。

質問 入園の面接の中で「入園できなかった場合どうするのか」という質問に対し、傷ついている保護者がいる。質問に配慮することは出来ないか。

答弁 質問する際、職員の配慮が足りなかったが、今後、より一層丁寧な説明、保護者の立場に立った話し方に改めていく。

仙北市民歌について

質問 仙北市民生から20年を迎えるが、市民が親しむことができる取り組みは。

答弁 市民の皆様と市民歌を歌うことを積極的に取り組んでいきたい。

その他の質問

◆病児・病後児保育事業の今後の具体的なスケジュールは
◆ノーコードツールの令和7年度の具体的な活用は



澤田 雅亮 議員

2025年度 部局経営方針 シートへの質疑 総務部について

質問 これからどのように人材を育て、確保、適材適所を行い特定の職員の負担増とならない配慮を行うのか。

答弁 若手職員は3年から5年のジョブローテーション、中堅職員は将来の役職等を見据えた配置にし、専門性・多面的な部分を強化していく。

質問 女性の多様なポストの具体的役職はどこか。

答弁 男女共、適材適所に配置する必要もあり、管理職への登用も考える。現段階では、議会へ参与する女性管理職を検討中で面談等を行なっている。

企画部について

質問 角館高校との地域未来留学制度の企画の内容は。

答弁 角館高校の魅力を活かし、他県から生徒を募集する取り組みとなる。

質問 宿泊税は本来、財政難への補填では無い為、どのように考え事業者の説明するか。

答弁 目的税なので財政状況を改善する為の収入とはしない。観光資源の向上やプロモーションに投資したいと考えている。丁寧に宿泊施設や組合に説明していきたい。

市民福祉部について

質問 病児保育の現状と方向性は。

答弁 令和9年度に角館総合病院内の空き病棟を活用し改修に着手する予定で検討している。

観光文化スポーツ部について

質問 外務省が展開しているジャパンハウスの有効活用方法は。

答弁 現在一部の事業者が活用されているが、相談頂ければどの事業所でも対応する。民間の事業者と一緒に協力し取り組みたいと思う。

【その他の質問】

◆災害時の情報伝達効率的な取り組みについて

◆マル福や保育園の更新手続きを自動更新にできないか



日本共産党
平岡 裕子 議員

インターナショナルスクール 誘致事業について

質問 2月14日締結の協定内容について伺う。

答弁 ①市が学校の設立に協力し、学校側は設立を実行すること
②学校による周辺の環境への配慮
③地元企業の活用や地域住民の雇用
④地域との交流支援など市が学校の円滑運営に協力することを定めてある。

質問 乗り越えなければならない課題とは何か。

答弁 各種学校の認可である。9月に白岩校開校を目指しているが、認可されなければ、9月開校が危ぶまれる。また、本校舎の位置が、史跡調査を実施するため、まだ決定していない。

質問 学校設立後に、地域への経済効果を年間7億8千万円と予測しているが、軌道に乗るまでの期間をどれくらいとみているのか。

答弁 田沢湖畔に600人規模の学校ができた場合の試算である。白岩小学校の仮校舎から始め、3年から5年かけて湖畔へ移転し、

定員に達するには更に数年かかる
と見込んでいる。

角館西宮家の今後について

質問 JR東日本秋田支社に維持管理を委ね、宿泊施設開業を決定前に、地域住民への説明会を行うべきではなかったか。

答弁 田沢湖角館観光協会・JR東日本秋田支社・仙北市3者で「仙北市における観光まちづくりに関する連携協定書」を締結しており、令和2年3月、二つの蔵を改装して開業した「和のぬ角館」に続き、令和3年から全体の活用が可能か検討を重ねてきた。方向性がある程度まとまった段階で説明会を開催した。



■まもなく、町なかから消えて
しまう西宮家のお店

【その他の質問】

◆生活環境消防力向上のために分団への活動支援について

◆公共施設の維持管理について



田口 寿宜 議員

ハラスメント対策について

質問 職場内におけるアンケート調査の実施状況及び、ハラスメントの有無について確認する。

答弁 アンケート調査は昨年末に実施し、職員の意識や実態を把握した上で防止対策を講じている。また、アンケートでは、「体を小突く」や「人前での感情的な叱責」など、パワハラに該当すべき事案が数%見受けられた。

質問 ハラスメントの根絶に向け、特別職・議員も対象に含めたハラスメント防止条例を制定するべきではないか。

答弁 ご指摘の特別職・議員も対象にした条例制定は、ハラスメントの防止に有効と考える。他自治体の条例等も研究し、今後の対策に取り入れていきたい。

令和7年度の施政方針から

質問 本市では、様々な子育て支援策を講じているが、出生数が伸びてこない現実がある。新たに策定した「仙北市こども計画」では、この現実をどのように分析し良い

方向に導いていくのか。

答弁 新たな子育て支援施策については、保護者へのニーズ調査を行い、ニーズとマッチングしているのか、どのような支援が求められているのか、施策の費用対効果を見極め、支援策の変更、拡充を検討していきたい。



子育て期待が
新たな効果
支援策

質問 移住定住と関係人口推進や高度外国人材等受入促進事業等は重要であるが、県外に出ている本市出身の若者が帰って来て、しっかりと生業を営める環境を創る事も必要ではないか。

答弁 本市出身者へ属性別アンケートなどで実態を把握した上で、例えば、高校3年生のいるご家庭などへの情報提供などを検討していきたい。また、子育て環境や余暇活動などの環境づくりも必要と考える。

【その他の質問】

◆国立・国定公園の候補地について



新成せんぼく
小田島広仁 議員

病院の経営改善対策について

質問 角館病院の病棟再編、実施時期、財政改善等について伺う。

答弁 病棟再編は、現行の4病棟から3病棟に、病床数は、170床を146床とする案を提示した。時期については7月1日に施行したい。収支の改善効果は、夜間看護手当等で年780万円の削減、診療単価の増により、年約800万円の増収が期待できる。

質問 田沢湖病院の病床機能見直し等と救急告示について伺う。

答弁 現在は、障がい者施設等一般病棟の運営だが、6月を目前に疾患の制限を受けずに入院できるように病床機能の見直しを図っていく。

救急告示については、救急医療体



■救急告示医療機関を目指す田沢湖病院

制の構築を目指し、関係機関と協議を行っている。今後は、秋田県地域医療構想との整合性を図り、スタッフの研修等も実施していく。

法定外目的税導入について

質問 法定外目的税導入の進捗状況、今後の進め方、活用内容について伺う。

答弁 財政健全化庁内検討委員会で方向性を検討しており、宿泊事業者に意見を伺うことから始めることとしている。今後はスピード感を持ち、導入時期を明確に定めたい。

活用内容については、観光業の方々の様々な課題を解決するため活用することとしたい。

答弁（観光文化スポーツ部長）現在、第3次観光振興計画を策定しており、内容を確認・検討する観光振興計画推進協議会に、宿泊事業者の方々も出席している。この協議会でも宿泊税導入の在り方を形にしたい。

【その他の質問】

◆市長が掲げる市政理念「幸福度全国No.1のまちづくり」について
◆移住定住事業の実績、課題、来年度の方向性等について



蒼生会
門脇 晃幸 議員

コロナ対策（市独自の施策）の検証について

質問 コロナ禍において、それによって理由に行った市独自の施策（事業譲渡含む）は、コロナ禍後も継承しているものはあるか。今後の対応を伺う。

答弁 継続事業として行政DX推進事業、地域力ステップアップ事業、テレワークワーケーション利用促進事業費補助金等がある。

新型コロナウイルス感染症の拡大という未曾有の事態に対応した経験が今後の市政運営に生かされるよう努めていく。

令和の米騒動（ふるさと納税）対策は万全か

質問 昨年の秋は、返礼品の主力である米が集まらず苦戦した。結果としては寄付金が前年を上回ったが、依然不安定な状態が続いている。令和7年度米の集荷対策は万全か。

答弁 昨年度は、ふるさと納税の関係者が尽力して米不足を回避し、寄付総額は過去最高だった。

令和7年度も事業者が必要とする米を確保できるように、最大限のフォローを続ける。



■ふるさと納税返礼品の
コメの確保は万全か？

立地適正化計画について

質問 令和7年度から2力年を目途に国の財政支援を受けて策定（都市計画マスタープランも同時改訂）の予定だが、市長の未来の仙北市像（イメージ）を伺う。

答弁 人口が減少する中で、医療、福祉、子育て支援、商業等の都市機能を、都市の中心拠点や生活拠点に誘導、その周辺や公共交通の沿線に住居を促し、一定のエリアにおいて人口密度を維持することにより、生活サービスやコミュニティの持続性が高まると考えられている。今後も仙北市が持続可能で在り続けるため、立地適正化計画を策定し、各施策に取り組んでいく。



蒼生会
高橋 輝彦 議員

令和7年度の当初予算について

質問 令和7年度の当初予算は、ふるさと納税を25億円も投入し、職員の給料までも充当している。この制度が廃止となれば、すぐに財政破綻ではないか。

答弁 指摘の通り、ふるさと納税がなければ予算が組めない状況にある。令和7年度は、旧角館病院解体・角館上野庁舎改修、北部斎場改修、市長選挙などの事業費増加で予算が膨らんでいる。

質問 厳しい財政状況の一因に特別会計と企業会計への24億円近い補助金等の支出があるが改善策は。

答弁 病院事業は11億円の補助金を出しても、令和6年度決算で資金不足比率が20%を超える。今後は抜本的な経営改善が義務付けられる。特別会計・企業会計の改善が急務である。

角館物産協会の使用料について

質問 角館樺細工伝承館で、仙北

市の観光振興と産業振興を担っている角館物産協会の使用料が、なぜ売上げの6・18%も徴収するのか。販売委託ではないので、市の行政財産使用料条例の使用料（定額）を適用するべきではないか。

答弁 これまで何十年も旧角館町の取り決めで継続してきたが、今の実情を鑑みる必要があるかと思うので、物産協会と腹を割って協議し、一番いい形にしたいと思っている。



■昭和54年からの使用料を
継続している伝承館

インターナショナルスクール白岩校の成功を

質問 開校当初だけでも、英語の話せる市職員を事務室に配置させるべきではないか。

答弁（企画部長）インターナショナルスクール側に配置していただく。

【その他の質問】

◆参議院議員選挙までバス等での移動投票所を導入するべき

総務文教常任委員会

令和7年度 一般会計当初予算 インターナショナルスクール誘致事業に1,211万円計上

令和7年度の一般会計当初予算の内、総務部・企画部・教育委員会関係の予算が審査されました。ふるさと納税ふるさと便仙北市魅力発信事業をはじめ、定住対策推進事業、移住体験推進事業、移住支援事業費補助金などの人口対策に係る予算や、仙北市ヤマメ・サクラマスプロジェクト事業について、活発な議論が行われました。

令和7年度 一般会計当初予算（総務文教常任委員会で審査した項目）

項目	令和7年度予算額	令和6年度予算額	比較	備考
議会費	1億5,596万円	1億5,792万円	△196万円	議会運営に関する予算
総務費	67億8,971万円	45億328万円	22億8,643万円	人件費など行政運営全般の他、庁舎整備事業費が加わり増加
消防費	8億6,098万円	9億4,904万円	△8,806万円	災害対策、大曲仙北広域消防や消防団に関する予算
教育費	16億5,373万円	15億9,910万円	5,463万円	小・中学校や公民館等の予算
公債費	20億9,237万円	20億7,716万円	1,521万円	借金の返済

令和7年度 総務部・企画部・教育委員会関係の一般会計当初予算 主な事業

庁舎整備事業費	16億9,951万円	行政運営効率性の大幅な向上を図るため、分散化した庁舎機能の一部集約を実施する
インターナショナルスクール誘致事業費	1,211万円	インターナショナルスクールの誘致実現による、交流人口の増加や雇用機会の創出等を通じた地域活性化を目指す
移住体験推進事業費	724万円	移住体験ツアーの企画・実施や、移住体験住宅の整備・運営等に係る経費
定住対策推進事業費	548万円	移住定住人口増加に向けた経費。定住促進奨励金や新規移住者向けに移住応援事業費助成金を交付し、移住に係る経済的負担を軽減する
移住支援事業費補助金	422万円	東京23区在住者等が移住のうえ市内マッチング支援対象法人に就職する場合等に移住に係る費用負担を助成する

総務文教常任委員会・予算常任委員会分科会での主な質疑

◆仙北市職員の育児休業等に関する条例等の一部を改正する条例制定について

質問 育児休業の取得状況と男性が育児休業を取得する事への各部署の理解度はどうか。

答弁 令和6年度の実績としては、男性・女性ともに全ての対象職員が育児休業を取得している。この事からも男性の育児休業取得を含め、理解度が深まっていると捉えている。

◆令和7年度 仙北市生保内財産区特別会計予算

質問 一般会計繰出金588万4,000円について、一般会計に補助している事業があるとの事だが、それは何か。また、本来は一般財源単独でやるべき事業ではないのか。

答弁 一般会計に補助している事業は、高野地区の桜剪定事業、上武蔵野児童公園桜伐採事業、田沢湖斉場修繕、黒森展望台床板修繕の4件である。本来は、市の一般財源や補助金等があれば単独でやるべき事業であるが、地域の事でもあり、財産区に協力をお願いした。財産区管理会で協議の上、今回は承諾いただいた。

◆令和7年度 仙北市一般会計予算

質問 定住対策推進事業、移住体験推進事業、移住支援事業費補助金について、それぞれの予算が違う事は分かるが、目的はいかに移住定住を増やすかであり、3つとも連携して行ってもらいたいと思う。

答弁 確かに、それぞれの名前が似通っており、利用希望者にとって分かりづらい状況にあるが、最終的に、これらの事業を使っていただき、移住定住につなげるために、仙北市に住めば得だな、魅力的だなと思っていただくための政策と、支援についての連携は必要だと思う。来年度から、地域おこし協力隊を迎える事で、様々な相談検討をしながら取り組んでいきたい。

(田口 寿宜 記)

市民福祉常任委員会

令和7年度 一般会計当初予算 民生費・衛生費に82億2,409万円 病院事業会計への補助金 前年度比2億8,729万円増額

令和7年度一般会計予算の内、民生費・衛生費が審査されました。子育て支援事業を多数盛り込み少子高齢化・人口減少を最重要課題と位置づけ、厳しい病院事業を継続するため、補助金を増額する予算となっています。

令和7年度 一般会計当初予算（市民福祉常任委員会で審査した項目）

項目		令和 7 年度予算額	令和 6 年度予算額	比 較	備 考
民生費	社会福祉費	30億3,236万円	28億 744万円	2億2,492万円	障害者や高齢者の福祉に関する予算
	児童福祉費	18億5,126万円	17億1,269万円	1億3,857万円	認可保育園の運営など児童福祉の予算
	生活保護費	4億6,011万円	4億5,377万円	634万円	生活保護に関わる予算
	国民年金費	899万円	879万円	20万円	国民年金に関連する予算
	災害救助費	66万円	79万円	△13万円	災害救援に関する予算
	計	53億5,339万円	49億8,350万円	3億6,989万円	
衛生費	保健衛生費	8億2,247万円	6億1,960万円	2億287万円	病気予防や診療所運営費などの予算
	水道費	9,693万円	1 億7,240万円	△7,547万円	水道事業会計への補助金
	病院費	11億円	8億1,271万円	2億8,729万円	病院事業会計への補助金
	清掃費	8億5,129万円	8億1,152万円	3,977万円	市町村圏組合廃棄物処理費負担金など
	計	28億7,070万円	24億1,624万円	4億5,446万円	

令和7年度 市民福祉部・医療局関係の一般会計当初予算 主な内容

こども家庭センター運営事業費	471万円	こども家庭センターでワンストップの子育て支援をする
MRI 検診補助金	50万円	無痛MRI 乳がん検診費用の1/2（11,000円）を助成
高齢難聴者補聴器購入費助成事業費	110万円	購入費用の1/2（上限：課税世帯2万円・非課税世帯2万5千円）の助成
防犯カメラ設置事業費	152万円	仙北警察署からの要望もあり、角館駅前、田沢湖駅前に防犯活動の一環として設置する
環境衛生総務費	72万円	角館庁舎周辺のカラスのフン害が問題となっており、システムでカラスの声を出し追い払う
国民健康保険特別会計への繰出金	2億127万円	一般会計からの国民健康保険特別会計への補助
後期高齢者医療特別会計への繰出金	1億3,556万円	一般会計からの後期高齢者医療特別会計への補助
介護保険特別会計への繰出金	1億678万円	一般会計からの介護保険特別会計への補助
水道事業会計への補助金	8,611万円	一般会計からの水道事業への補助
病院事業会計への補助金	11億円	一般会計からの病院事業への補助

市民福祉常任委員会・予算常任委員会分科会での主な質疑

◆母子保健対策費のうち、新規事業である5歳児検診について

質問 どのような形で初めての5歳児検診を実施するのか。

答弁 令和7年度は、年7回を予定している。新規事業なので4月と5月に1回ずつ、それ以降は2ヶ月刻みで実施予定である。内容としては保育園や保護者へアンケートを実施し、それを受けて小児科の先生や関係機関で必要な支援を検討していくことを想定している。

（小田島 広仁 記）

産業建設常任委員会

令和7年度 一般会計当初予算

土木費1億7,583万円の増額(国庫補助の増額見込む)

令和7年度の一般会計予算の内、労働費、農林水産業費、商工費、土木費の予算が審査されました。農作物の被害対策として有害鳥獣駆除事業費1,066万円や、インターナショナルスクール建設予定地の埋蔵文化財調査事業費3,705万円等が計上されております。

令和7年度 一般会計当初予算(産業建設常任委員会で審査した項目)

項 目	令和7年度予算額	令和6年度予算額	比 較	備 考
労働費	7,485万円	7,341万円	144万円	シルバー人材センター補助金等
農林水産業費	9億4,754万円	8億6,408万円	8,346万円	基盤整備事業、有害鳥獣駆除事業費等
商工費	8億3,487万円	8億3,318万円	16万円	商工業振興、観光費等
土木費	23億1,286万円	21億3,703万円	1億7,583万円	除雪費、道路改良費等

令和7年度 観光文化スポーツ部・農林商工部・建設部関係の一般会計当初予算 主な事業

多面的機能支払交付金事業費	1億7,206万円	農地・農業用施設の保全等への共同活動支援
有害鳥獣駆除事業費	1,066万円	農作物被害対策としての電気柵等への補助
森林経営管理制度事業費	2,642万円	手入れの行き届いていない森林の経営管理等
リトリート推進事業費	100万円	モニターツアーとして地域の魅力発信者への支援
都市計画マスタープラン策定事業費	1,040万円	新たな立地適正化計画の策定
埋蔵文化財調査事業費	3,705万円	インターナショナルスクール建設予定地の調査費
角館のサクラ文化財指定 50周年記念シンポジウム事業費	172万円	文化財指定50周年記念事業の経費

産業建設常任委員会・予算常任委員会分科会での主な質疑

◆産業祭について

質問 会場を持ち回りとする事はできないか。また、開催趣旨・開催内容も検討すべきでは。

答弁 開催場所については実行委員会で決定されるものであるが、持ち回りの意見があることも伝える。また、農産物の出展や産業祭という名称自体も含めて検討する。

◆リトリート推進事業費について

質問 今年度の実績とSNSの情報発信状況は。

答弁 今年度は10名のアーティストの方々が参加し、地域おこし協力隊の溝口隊員を中心に情報発信を行ったが、顔を出しての発信がなかったため来年度はより多く発信していきたい。

◆田沢湖マラソン大会について

質問 予算増により参加費の値上げは考えているか。また、給水ポイント等でのランナーを主体にした対応に不備があるのでは。

答弁 参加費は値上げをせずに開催したい。また、大会を継続していくための方策として、給水ポイント等での対応を含めて検討する。

令和7年度 企業会計当初予算

企業会計名	令和7年度予算	令和6年度予算	比 較	備 考
温泉事業会計	1億1,019万円	9,069万円	1,950万円	温泉施設改良事業に係る企業債償還金等の増
水道事業会計	11億5,285万円	13億5,343万円	△2億58万円	未普及地域解消事業等の減
下水道事業会計	16億3,892万円	15億2,523万円	1億1,369万円	管路の維持管理や処理場の建設改良費の増

(武藤 義彦 記)

仙北市議会の議員活動紹介

講師紹介 長内 紳 悟 氏

1980年岩手県出身
民間企業、2市の自治体職員
早稲田大学マニフェスト研
究所を経て現職に。
議会事務局に9年間在籍し
議事調査、議会改革を担当。
岩手県市議会議長会に「いわ
て議会事務局研究会」発足の
呼びかけ人代表。
現在、湯沢市の他、全国の自
治体や議会政策アドバイザー
を行っている。



長内講師の政策提言の手法に聞き入る
仙北市議会議員の面々

一般社団法人地方公共団体政
策支援機構上席研究員 長内紳
悟氏をお迎えし、政策立案・会
議規則・仙北市議会基本条例・開
かれた議会」とは？・政策の高
度化・調査データ分析等を学ん
だ。議会として研修を行うこと
で今後より活発な議論を行うこ
とができると考えている。特に、
調査データ分析を活用し、様々
な課題を掘り下げ政策提言等に
繋げていきたい。

(西宮三春記)

議員研修会開催(1/24)

新成せんぼく

行政視察研修



長野県の大町総合病院の経営健全化の取組み
を視察した新成せんぼくのメンバー(左側4名)

平成31年策定の経営健全化計画と具体
的な措置の状況等を伺い、病院事業に大
きくメスを入れた大町総合病院を直接視
察したことで、本市の2病院の経営健全
化に新たな提案をし、市民にとって安心
して良い医療体制の構築に尽力したい。

(西宮三春記)



資金不足比率が20%を超え
経営健全化計画を定めた大町
総合病院

仙北市と同等の人口規模にある長野県
大町市にある市立大町総合病院の病院経
営の健全化に向けた取り組みを視察させ
ていただいた。

市民参加の表紙の写真第3弾

市民提供の表紙写真の第3弾は、田沢湖生
保内の難波 和夫さんです。生保内で生まれ育
ち、30歳から写真を始め、写真歴は55年にも
なり、河北写真展の特選・河北賞を始め、様々
な賞を受賞しております。

難波さんは消防の仕事をしなが、景色だ
けでなく、人々の暮らしやイベント等を写真
に残しており、市の観光関係での情報発信に
も力を貸していただいています。令和6年度
の観光協会のポスター「秋扇湖の水没林」の
写真も難波さんのご協力によるものです。

(小田島 広仁 記)

人事案件(敬称略)

田沢財産区管理委員

千葉 栄 幸 (70歳) 【再任】
田沢湖田沢字寺下 94

藤 原 修 (76歳) 【再任】
田沢湖田沢字大山 3ノ1

羽根川 覺 (80歳) 【再任】
田沢湖田沢字先達 86

千葉 恒 昭 (80歳) 【再任】
田沢湖田沢字打野 119ノ1

一般質問を1Pに二人掲載!

今回から、市議会だよりの経費削減の
ため、一般質問の記事を1ページに二人
分掲載することにしました。
少し窮屈かと思いますが、市のホーム
ページ「市議会中継」でじっくりご覧
ください!

編集後記

一般質問は、議員の個性
や主張がにじみ出ていま
す。多様な視点から気づき
や学びが多くあります。市
長が理念とする「幸福度全
国ナンバーワンの仙北市を
目指す」について、「仙北
市民の幸福度は、現在、全
国・東北・県内での位置
に到達しているのか」の問
いに、「市民の意識調査で
伸びを感じている」と答弁
がありました。事業計画の
修正が効かない状況下での
事業住民説明会は、市民に
とって幸福度とは縁遠いも
のになっています。共に政
策実現に向かっていく実感
を持つてこそ高まりは期待
できるのではないでしょ
うか。

次回6月定例議会から参
与席に、複数の女性の姿
を見ることになり期待して
います。議会ライブ配信の
感想を伺う機会があります
が、会議場での傍聴にも是
非関心をお寄せください。

(平岡 裕子委員長 記)